

● 診療科の特色

当科は2022年4月以降、医長1名と医師1名の計2名で診療を行ってきたが、2022年12月からレジデントが1名加わることとなった。ようやく2019年3月までの人員数に戻り、現在は計3名の体制で診療を行っている。

診療内容としては、出血性脳卒中(脳出血およびくも膜下出血)、脳腫瘍(原発性および転移性)、頭部外傷を中心として手術治療ないし保存的治療を行っている。これらに加えて、頸動脈狭窄症による虚血性脳血管障害に対する頸動脈血栓内膜摘出術や、『手術で治せる認知症』と言われる正常圧水頭症に対するシャント手術も、適応症例においては積極的に行っている。また、小児医療に関しては当院は地域の中核的な存在であり、当科でもその一翼を担っている。2022年度の手術症例のうち、約20%が15歳以下の小児例であった。小児脳神経外科に関しては、岡山大学病院や川崎医科大学総合医療センターの小児神経外科認定医とも連携しながら診療を行っている。

引き続き、『信頼できる脳神経外科』であり続けられるよう、地域医療における役割を果たしていく所存である。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 71件

	手術名	件数
1	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	24
2	頭蓋内腫瘍摘出術(＋定位脳腫瘍生検術)	11
3	頭蓋内血腫除去術(硬膜下＋硬膜外)	7
4	水頭症手術	7
5	穿頭脳室ドレナージ	6
6	脳内血腫除去術(開頭＋定位)	4
7	脳動脈瘤頸部クリッピング術	1
8	内頸動脈血栓内膜摘出術	1
9	その他	10
	計	71

● 研究業績

論文

- 1) Matsumoto Y, Ichikawa T, Kurozumi K, Date I
Current Insights into Mesenchymal Signatures in Glioblastoma
Acta Med Okayama, 76, 5, 489-502, 2022 OCT

学会発表

- 1) 外視鏡を用いて仰臥位で摘出を行った 後頭蓋窩髄膜腫の1例
吉田 秀行
第93回 日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会 2022年4月2日
- 2) くも膜に限局して腫瘍形成を認めた肺小細胞癌転移性脳腫瘍の1例
松本 悠司
第94回 日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会 2022年12月3日